R7,4,7

サクラの開花はいつ？

～ ソメイヨシノ 600℃の法則 ～

近年、単純に温暖化の影響と考えるのは早計かもしれませんが、春の訪れが、早まっているように感じます。昔は桜の季節と言えば、入学式頃でしたが、最近は、春休み中には満開を過ぎて、蕊桜になっています。

【2025 年 東京の開花は、3月24 日】

清瀬五中の桜は１９本あります。

一昨々年（２０２２年）の東京での開花は３月２４日、一昨年（２０２３年）は3月２０日、昨年（２０２４年)は3月１４日と、年々早くなっており、今年も3月中旬までに夏日（最高気温が２５℃以上）が ３ 日と、観測史上もっとも暖かい3月で、桜も4月を待たずに満開が終わってしますと予想されていたのですが、天気は気まぐれで、卒業式に雪が降るなど、真冬に戻ったように下旬は冷え込み、蕾の成長もブレーキがかかり、昨年よりも１０日ほど遅い3月２５日に、開花となりました。そのおかげで、今年は久しぶりに、花吹雪舞う始業式と入学式になりました。

もちろん桜の種類や個体差によっても咲く時期は違い、伊豆半島の河津桜などは２月中旬には満開となります。

【６００℃の法則（開花日予想)】

一般的に、桜の開花情報は、ソメイヨシノという品種についての情報で、各地域の気象台がその地区の標準木（観測に使う木）を決めておき、その状況で判断をしているそうです。東京都は靖国神社の境内にあり、5～6個の蕾が開いたら、開花宣言としているようです。ソメイヨシノの開花日には「６００℃の法則」というのがあるそうです。

「２月１日以降の各日の最高気温を足し算していき、合計の温度が、６００℃に達すると、開花する」という法則です。

この法則は、過去のデータからの経験則ですが、東京の場合、±３日くらい前後するだけで、結構な精度があるようです。開花日から５～６日ほどで満開となります。今年の満開日は、３月３０日でした。清瀬市などがある市部では、標準木のある千代田区に比べると、全体的に気温が低めなため、数日遅れで、開花と満開になることが多いですね。